

〔運営主体：特定非営利活動法人ピアファーム〕〔事業所：就労継続支援B型事業所「ピアファーム」「産直市場ピアファーム」〕（福井県あわら市）

WEBサイト：<http://peerfarm.jp/>

視察受入れ：可（有料、Webサイトの申込書にて予約）

報道機関受入れ：可

- 特定非営利活動法人ピアファームは、平成20年4月、福井県内の社会福祉法人から独立して、農作業と農産物直売に特化した事業を行うため、別途設立された法人。
- 知的障害者を中心とした利用者約40名が、2つの就労継続支援B型事業所において、日本なしとぶどうの生産、果実を用いた加工品の製造、農産物直売所とスーパーマーケットの運営などを通年で実施。
- なしとぶどうの品質に定評がある。また、毎年、農場には多数の来場者があり、観光地や体験農園としても有名。
- 令和元年度から農林水産省の交付金を活用し、「施設外就労コーディネーター」の育成を実施。
- 令和2年2月に、果樹では福井県内初となるアジアGAP認証を取得（対象品目は「日本なし」と「ぶどう」）。

取組の内容

- ◆ 平成20年度から、後継者のいないなし農園の集積を行う。近年、事業所周辺の耕作放棄地も再生し、ぶどう及び野菜の栽培も実施。農場は約6.2haとなる。
- ◆ 農産物・加工品として求められる品質を満たすことを最重視。県の農業部局と栽培技術を探求するとともに、産業部局とは市場調査を実施。
- ◆ 平成28年度から、梨ジュースの製造にも取り組み、毎年約1,000本～1,500本を販売するほか、ゼリーやジャムなどの加工も実施。
- ◆ 市内外の農業者180戸が出荷する直売所を運営。
- ◆ 令和元年度「農山漁村振興交付金」を活用し、施設外就労コーディネーターを育成。

取組の効果

- ◆ 高品質を維持するために、手作業を多くすることで、結果として、多数の障害者の作業を創出するとともに、防除回数を減少させ、減農薬栽培を実現。
- ◆ 多数の人員がいるため、生食ぶどうについては、24品種を栽培。年間80日以上の出荷が可能。
- ◆ 平成25年度には、観光農園を開設し、年間約3,500人が来園。
- ◆ 平成28年度には、梨ジュースとなしのセットが、県の優良観光土産品として推奨された。
- ◆ これらの活動の結果、平均事業収入は、年間1億5千万円程度を維持。平均工賃は、「ピアファーム」が約4万円/月、「産直市場ピアファーム」は約5万円/月と、県内のB型事業所の平均を上回る。
- ◆ 施設外就労コーディネーター10名を育成することで、農業者と障害福祉サービス事業所の契約仲介を進めるなど、県内における農福連携の中心的存在。

日本なしの収穫作業

高品質のマスカット
なんと、一房1万円！

梨ジュース



産直市場ピアファーム



peer farm

福井県の果樹園 あわらベルシエ